



暮らしやすいふるさとへ  
**農業集落排水処理施設  
 7地区で供用**



安芸区・阿戸処理施設  
 (平成14年4月1日供用開始)



安佐北区・小河内処理施設  
 (平成8年6月1日供用開始)



安佐北区・下三田処理施設  
 (平成11年4月1日供用開始)



安佐北区・三田処理施設  
 (平成8年12月1日供用開始)



安佐北区・上三田処理施設  
 (平成10年4月1日供用開始)



安佐北区・須沢処理施設建設中  
 (平成15年度供用開始予定)



安佐北区・市川処理施設  
 (平成11年4月1日供用開始)



安佐北区・井原処理施設  
 (平成6年9月1日供用開始)



本センターでは、農村地域の生活環境の改善と公共用水域の水質の保全に大きな役割を果たす農業集落排水処理施設の建設に、取り組んでいます。

現地7地区で処理施設の供用を行っています。また、新規に安佐北区白木町須沢地区、井原高南地区の2地区で建設を進めています。

今後も、地域住民の方々々が快適な生活が送れるように、川では蛍が飛び、めだかが泳いでいるなど、ふるさとを感じる場として整備していきます。



## 多様な担い手の育成

### “ひろしま活力農業” 6名が自立、4名が研修

若い農業経営者を育成する“ひろしま活力農業”経営者育成事業は6年目に入り、これまでに6名が安佐北区白木町で農家として自立しています。

今年度は、第4期生新田泰彦さん・西尾哲也さんが基礎研修を終えて安佐南区中吉山地区での実地研修に入り、4月22日に広島市中央市場にコマツナを初出荷しました。二人とも自分の手で育てた品が高値となり喜んでいました。

また、新たに第5期生として平田博之さん(39)と沖高浩さん(40)が、本センター研修ほ場で基礎技術の習得に励んでいます。

※ただいま第6期研修生を募集中(締め切りは8月31日まで)

☎ 振興部指導課構造改善係(☎845-4347)



高値取引された新田さん・西尾さんのコマツナ



ひらた ひろ希  
平田 博之さん



おきたか ひろし  
沖高 浩さん

## 個性ある農業の展開

### 安佐南区戸山地区で「環境にやさしい農業」に取り組む

本センターでは、平成14年3月「広島市環境にやさしい農業の推進基本計画」を策定して、環境にやさしい安心な農畜産物の生産を推進しています。

今年度、安佐南区沼田町戸山地区の野菜出荷グループでは、「環境にやさしい農業」の推進のため、街路樹の剪定枝をリサイクルした堆肥の投入や自然に分解するマルチフィルムの使用などの取り組みを始めました。

出荷グループ代表の岩森芳彦さんは、「元気な野菜づくりには地域の自然環境に配慮した農業を行うことが必要。これからも、安心して買って頂ける野菜を提供していきたい」と語っておられました。

☎ 振興部指導課農産係(☎845-4376)



野菜出荷グループ  
いもり よしひこ  
代表岩森 芳彦さん



収穫後に自然分解するマルチ使用のナス栽培

## 生産性の高い農業の確立

### BSE対策 市内701頭の牛に耳標

BSE(牛海綿状脳症)対策で、全ての牛に生涯一つの個体識別番号をつけて移動経歴等を把握する管理システムが導入され、市内飼養の牛全て(乳牛356頭・肉牛345頭)に耳標を装着しました。

4月10日には、広島消費者協会会員の方が、白木町の和牛畜産農家(井上昭男さん)を視察。このシステムにより、飼育過程や与えられた餌まで把握できることに感心されていました。

☎ 振興部指導課畜産係(☎845-4378)



耳標が装着された肉牛



個体管理システムに感心する会員

## 安佐町のほ場整備法面 景観向上にシバザクラ

安佐北区安佐町小河内西部地区・鈴張地区では、ほ場整備が完了し、農業機械等の効率的利用や農地の高度利用ができるようになりました。

地元では、高収益産地の育成に取り組むほか、ほ場整備後の法面にシバザクラの苗を植えるなど花のある美しい地域づくりを進めています。

☎建設部基盤整備課 (☎845-4348)



明るく色鮮やかなシバザクラ植栽法面

## 花卉100枚・燃える赤 ダリアの新品種開発

本センターでは、理化学研究所との共同研究により、重粒子線（重イオンビーム）を活用した花卉数が従来のほぼ倍の百枚もあるダリアの新品種“ワールド”を開発しました。試験栽培したダリア部会の寺西一夫さん（東区馬本9丁目）は、「色あいもよく、新感覚のダリアとして楽しんでもらえると思う。今年は本格的に栽培していきたい」と語っておられました。

☎振興部園芸課 (☎842-4421)



てらにし かずお  
ダリア部会 寺西 一夫さん

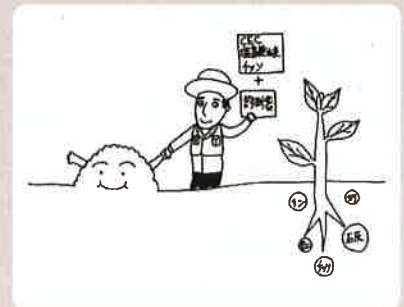


新品種のダリア“ワールド”

## 認定農業者対象に「土ドック」(土壌診断)

調和のとれた土づくりは、農作物の安定生産に欠くことのできないものです。特にビニールハウスなど施設栽培では重要なカギとなります。本センターでは、認定農業者を対象に、適格な土壌・施肥管理技能の向上を目指した、ハウス土壌の「土ドック」事業を行っています。人間ドック受診のように土の健康管理に役立ててください。

☎振興部園芸課 (☎842-4421)



## 「農」ある住みよい地域づくりの推進

### 阿戸町の農業集落排水処理施設完成！

本市7か所目となる阿戸農業集落排水処理施設が完成し、5月25日に完成記念祝賀会が地元主催のもと盛大に行われました。

阿戸地区農業集落排水処理施設管理組合長の山田松司さんは、「待望の処理施設が完成し感激しています。この施設が私達の生活環境を保全し、快適で清潔な生活を守り、また地域の絆として重要な役割を果たしてくれるものと信じています。大切な施設を地域の皆さんとしっかり守っていきます」と語っておられました。

☎建設部環境整備課 (☎845-4349)



阿戸地区農業集落排水処理  
施設管理組合長  
やまだ まつし  
山田 松司さん



阿戸福祉センターで盛大に開催された  
完成記念祝賀会



## みどり意識の啓発

### 森林公園での自然体験1万人を超える 今年度も好評

広島市森林公園では、小・中学校を対象に、園内400haの森林や昆虫館などを活用した自然体験活動を推進しています。自然に恵まれたフィールドで子供たちが教室を離れ、自然に触れ合う実体験を通じて、豊かな感性とたくましく生きるための健康や体力を育むことを目的としています。

平成13年度には、グリーンアドベンチャーなどの森林体験を33校・44回、昆虫の飼育・観察などの昆虫体験を50校・100回開催し、11,342人の参加がありました。

今年度も、森林・教育関係の方々の意見を基に様々なメニューを用意し、現在申込の受付を行っています。総合的な学習の時間にもご活用ください。

☎ 森林整備部森林整備課 (☎899-1005)



森林体験 “この木何センチかな”



森の落ち葉で創造性を養う図画工作

## 値し物ご案内

### 森林公園・昆虫館

#### “みんなで作ろう昆虫の里山” 参加者大募集!

7月21日(日)・平成15年3月16日(日)

森林公園で、昆虫が生息できる森林（昆虫の里山）作りを行います。混み合った木を切ったり、昆虫の好きな植物を植えたりして、カブトムシなど子供に馴染みの深い昆虫やギフチョウなどが生息する環境に整備します。

この森づくりに参加していただく市民の方を募集しています。みんなで“昆虫の里山”を作りましょう。

☎ 森林整備部森林整備課 (☎899-1005)



子供も一緒にカブトムシのいる森づくり

#### 夏休み特別企画展「世界のカブト・クワガタ」

8月4日(日)～8月18日(日)

世界の生きた珍しいカブトムシやクワガタムシを紹介します。迫力ある展示を是非ご覧ください。



ヘラクレスオオカブトムシ

#### カブトムシの 飼い方教室

7/13(土)・20(土)  
10/12(土)・19(土)・26(土)  
11/ 2 (土)・ 9 (土)・16(土)

#### 特別企画展「秋の鳴く虫」

9月7日(土)～10月6日(日)

秋になると私たちの耳を楽しませてくれるクツワムシなど秋の鳴く虫の音色に耳を傾けてみましょう。



秋の虫クツワムシ

#### 昆虫教室

7/14(日) 夏の虫の観察  
7/21(日) カブトムシの飼い方  
7/28(日) クワガタムシの飼い方  
8/25(日) クワガタムシの標本作り  
9/ 1 (日) トンボ・セミの標本作り  
10/13(日) 秋の虫の観察

☎ 森林公園 (☎899-8241)